



架け橋

第5号

(令和4年7月20日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

夏休みに「努力の壺」をあふれさせよう

校長 芳崎 正道

前号で「史上最も早い梅雨明け」「連日の猛暑」と書いたばかりですが、戻り梅雨のように、毎日雨が降ったりやんだりしています。一方、新型コロナウイルス感染の第7波と言われるほど、日々感染者数が急増しています。学校では感染対策に万全を期して子どもたちを守っていきます。



リュウゼツラン (昇降口前)

さて、いよいよ、明日から夏休みに入ります。昨年同様36日間の夏休みです。夏休みに入る前に、「努力の壺」について、紹介します。「壺」は、水などをためておく入れ物です。

生徒の皆さんは、年度当初に「今年は、これができるようになりたい」「勉強や部活でこれを頑張りたい」という目標を立てたことと思います。

実は、皆さんが「成績を上げたい」「大会でベスト8」「優勝したい」などと目標を立てたとき、神様から「努力の壺」を渡されているのです。何かを達成するためには、この壺に「努力の水」を貯めていくのです。成績を上げたいなら「毎日1時間勉強する」、運動で記録を出したいなら「毎日練習に励む」などといった努力を重ねると、壺に「努力の水」が溜まっていきます。努力を繰り返すと、壺は「努力の水」でいっぱいになり、いつかあふれ出すときがきます。壺から水があふれたときに目標が達成されるのです。

しかし、この壺を「努力の水」でいっぱいにするには、決して簡単ではないのです。なぜならば、この壺には、他の壺とは違う秘密が2つあるのです。実はこの壺、「中を見ることできない」のです。半分くらい溜まっているかもしれないし、全くたまっていないかもしれません。終わりが見えないと諦めの気持ちが出てきます。いくら頑張っても結果がでないと、「頑張ってもどうせ無理だ」と諦めてしまう人もいます。でも、もしかしたら、あと一回努力するだけで壺から水があふれていたかもしれません。壺から水があふれ、目標が達成された時をイメージして「努力の水」を入れ続けることが大切です。

また、この壺は「人によって大きさが違う」のです。当たり前ですが、「他人と同じだけ努力したから同じ成果が出る」とはありえません。努力をしても、努力をしても、結果が出ないと限界を感じてしまうこともあるでしょう。でも、「努力の水」をためることができる「壺」というのがあるのです。あと1日でできるようになっているかもしれないのに、あきらめたら何にもなりません。

これまで苦勞して頑張っている努力の分は、間違いなくその壺に「努力の水」がたまっています。確実にたまっているのです。日々、地道に、あきらめずに、みなさんの壺の中に「努力の水」を入れ続け、必ずあふれさせてください。そして、さらに、皆さんの「心の壺」からも、何度も「心の水」があふれることを期待しています。

全ての三橋中生が、36日間、時間換算すると864時間の長期休業中、安全・健康に、かつ一人ひとりとって有意義で実り多い夏休みを送るとともに、8/26の始業式に元気に登校してくれることを願っています。